

’ 24～’ 25 年版 ユーキャンの第 2 種衛生管理者 重要過去問&予想模試
訂正のお知らせとお詫び

この度は、弊社書籍をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

本書の記述内容に以下のような訂正事項がございました。お詫びして訂正申し上げます。

なお、発行年月日により対象となる訂正箇所が異なる場合がございますので、お手元の書籍の奥付で発行年月日をご確認のうえ、訂正していただきますようお願いいたします。

■「第 10 版 第 1 刷（2024 年 8 月 2 日）」をお持ちの方

該当頁	該当箇所	訂正前	訂正後	訂正日
P.89	問 67 (1) 解説	(1) 正しい。WBGT は、気温、湿度、気流および輻射熱（放射熱）の 4 つの要素から暑熱環境の程度を示す指標として用いられる。	(1) 正しい。温度感覚を左右する環境条件は、気温、湿度、気流および輻射熱（放射熱）の 4 つの要素によって決まる。	2024.8.2
P.215	問 162 (4) 解説	(4) 誤り。事業者は、面接指導の結果に基づき、当該労働者の健康を保持するために必要な措置について、面接指導が行われた後遅滞なく、医師の意見を聴かなければならない(安衛法第 66 条の 8 第 4 項、安衛則第 52 条の 7)。面接指導が行われた日から 3 カ月以内ではない。	(4) 誤り。事業者は、面接指導の対象となる労働者の要件に該当する労働者から面接指導を受ける旨の申出があったときは、遅滞なく面接指導を行わなければならない(安衛則第 52 条の 3)。申出の日から 3 カ月以内に行わなければならないのではない。	2024.11.15
別冊 P.11	問 18 (1) 解説	(1) 誤り。単純骨折とは、皮膚の下で骨が折れているが、皮膚に損傷がないものをいう。骨にひびが入った状態をいうのではない。なお、骨にひびの入った状態を不完全骨折という。	(1) 誤り。単純骨折とは、皮膚の下で骨が折れているが、皮膚に損傷がないものをいう。骨にひびが入った状態だけではない(骨が折れた状態も含む)。	2025.5.30
別冊 P.9	問 15 解説	運動機能検査の項目のうち、敏しょう性を把握するために行う測定種目は全身反応時間である。 <u>上体起こし</u> ではない。	運動機能検査の項目のうち、敏しょう性を把握するために行う測定種目は全身反応時間である。 <u>踏み台昇降</u> ではない。	2025.7.18
P.199	問 152 (4) 解説・最終行	～指名することがでない。	～指名することができない。	2025.12.5